

アートは“心のお薬”

新病院ホスピタルアート、進行中

来年
4月
開院

新病院では、NPO法人アーツ・プロジェクトのご協力のもと、さまざまなホスピタルアートの導入を計画中です。「病院とアート」—意外な組み合わせと思われるでしょう。

病院は、心身の病いばかりでなく不安、痛み、恐怖を抱えた方やご家族らが「治療」を目的に来院される施設です。けして「楽しい場所」、積極的に「行きたい場所」ではありません。患者さま＝病いに立ち向かうひとや支える周囲のひとにとって、アートの力で少しでも身も心も癒される空間を提供したい、とわたしたちは考えています。また働くわたしたちスタッフにとっても、同様です。現在進行中の「みみはらアート」の一端をご紹介します。

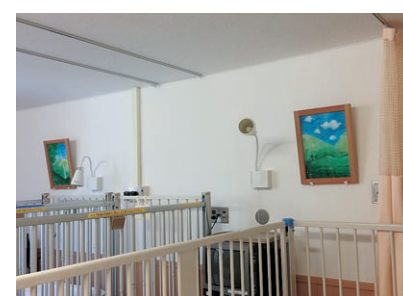
(新病院建設事務局「アートと癒しの空間づくりPJ」)

エントランスアート

広い玄関の吹き抜け天上には、「オブジェ」を吊り下げます。デンマーク在住のYUKO TAKADA KELLER氏のデザインによる作品で、パーツには地域住民、スタッフから、メッセージを寄せていただきます。



エントランスホールイメージ図



「風の伝言」プロジェクト

無機質で殺風景な病室は、ただでさえ退屈な入院生活を余計憂うつなものにしま

現在の小児科病棟

す。幅広いみなさまから、A4版平面の作品をお寄せいただき、入院患者さまご自身が好きな作品を選んで、ご自分の病室に飾っていただく企画です。現在小児科病棟では、入院していた子どもたちの作品を飾っています。

「エレベーターホール」内壁画プロジェクト

新病院は14階建て、2階づつフロアのイメージカラーを決めました。カラフルなエレベーターの扉が開くと、フロア独自の「壁画」を展開します。堺や当院にちなんだ物語を紡いで、担当スタッフがワークショップを開催し、デザインを出し合います。



院内の壁にも“アート”を



「共同の壁」イメージ図

「共同の壁」プロジェクト

新病院外壁には、大きな「壁画」をあしらいます。この地に誕生して64年、地域に支えられ大きくしていただいた証に、「共同の壁」と名付けました。町のシンボルのひとつになれば、と願っています。「絵本の表紙」に見立て、院内の壁画に物語をつなぎます。

Yuko Takada Kellerさん

来日された折、当院を訪ねてくださったYukoさんと当院奥村伸二病院長です。



みみはらゆるきゃら48

昨年、当院の「ゆるきゃら」を募集、多くのご応募をいただきました。当院にちなんだモチーフばかりで選考しきれず、いっそのこと「全員集合」となりました。キャラクターをあしらった、Tシャツやマグカップ、クリアフォルダーも作成。好評販売中です。



NPOアーツプロジェクト 室野愛子アートディレクターに聞く

「病院」のルーツは、修道女が教会に患者を集め、それまで呼ばれて向っていた医師が等しく医療を施したことからと言われています。患者さんが集まるその場所は、音楽によって、美術によって、建築によって、あらゆる芸術によって命の讃歌と尊厳と慰めがある場でした。そこに集まった医療者も患者も、聖歌隊の歌を聞き、ステンドグラスの虹色の光を浴び、慈しみ深い彫刻に慰めを受け、強固な教会建築に守られ、心身の“手当て”を受け、たとえ身体の健康が取り戻せなくとも、心慰められる場所でした。ホスピタルアートは“新しい試み”と誤解されるときがありますが決して新しいことではなく、本来の病院を取り戻す活動です。

耳原総合病院が100円という希望の芽からこんなにも大きな大木になり、これからも地域に根ざしてその木陰で人々を守り治し続ける姿を、私はアートにかえて表現していきたいと思います。



経歴

- アシスタント**
 - 2005年 アートと医療の出会い シンポジウム
 - 2006年 神戸労災病院 厚生年金病院
 - 2007年 大阪府和泉市府中病院
 - 2008年 大阪厚生年金
- ディレクション サブディレクション**
 - 2009年 洛和会音羽病院
 - 2010年 大阪府立 大冠高校 和歌山さくらクリニック
 - 2011年 特別養護老人ホーム 愛和苑 沢井記念乳腺クリニック 洛和会音羽病院
 - 2012年 野間こどもクリニック
 - 2013年 兵庫県立光風病院 宮崎歯科医院
- 周知・講演活動**
 - 2009年 アートマネジメント交流会
 - 2010年 アートミーツケア学会
 - 2011年 大冠高校
 - 2012年 大手前大学
 - 2014年 広島国際大学

地域に根ざした医療

Interview

- 医師を目指したきっかけは？
人間の寿命をまっとうするための力になりたい。
- 診療の際に心がけていることは？
親切丁寧。
- 地域医療について
地域住民の健康の向上と維持のため。
- 耳原総合病院への希望・要望
今後とも連携していきたい。
- 最後に一言お願い致します
堺に根ざした地域医療を行っていきたい。

飯田診療所 院長 いいたもとゆき 飯田 基之



- 血液型 A型
- 星座 さそり座
- 趣味 カヌー バイク
- 略歴 平成4年 近畿大学医学部卒
大阪大学第1内科入局
平成16年 飯田診療所

副院長 いいたよっこ 飯田 陽子



- 医師を目指したきっかけは？
小さい頃、耳鼻科に通院していた。先生の姿をみて、すごいなと思い医師という仕事にあこがれた。
- 診療の際に心がけていることは？
患者さんとのコミュニケーションを大切にします。
- 地域医療について
地域の方々の健康維持のために、病院や地域の先生方と協力していきたいと思っています。
- 耳原総合病院への希望・要望
時間外診療なども対応していただき、助かっております。これからもよろしく願いいたします。
- 最後に一言お願い致します
周りの方々に支えて頂きながらこれからも頑張っていきたいと思っています。

- 血液型 A型
- 星座 みずがめ座
- 趣味 子育て
- 略歴 平成8年 兵庫医科大学卒業
小児科入局
平成17年 飯田診療所



飯田診療所

〒590-0048 大阪府堺市堺区一条通4-12
TEL.072-232-1437

スタッフ

医師2名 看護師2名 事務5名

医療機器

心電図、胸部レントゲン、腹部エコー

診療科目	外来診療時間	月	火	水	木	金	土	日
内科・小児科	9:00 ~ 12:00	○	○	○	○	○	○	×
	17:00 ~ 20:00	○	○	○	○	○	×	×

休診：土曜日午後・日曜日・祝祭日